

インフルエンザの流行に備えましょう



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↑ 8	2	百日咳	↓ 0	1
RSウイルス感染症	↓ 63	107	ヘルパンギーナ	↓ 37	45
咽頭結膜熱	↑ 16	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 78	108
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 40	41	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 442	437	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 24	33
水痘	↓ 10	17	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 115	149	無菌性髄膜炎	↓ 1	3
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 8	3	マイコプラズマ肺炎	↓ 8	16
突発性発疹	↓ 28	43	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ 手足口病
- ☀ 流行性耳下腺炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池
 手足口病 : 水俣、天草、菊池
 流行性耳下腺炎 : 八代
 流行性角結膜炎 : 有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
1 熊本市保健所	5	11	7	17	107	2	42	2	10	0	6	18	0	14	0	1	7	0	0
2 山鹿保健所	0	0	0	0	37	1	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	0	15	6	5	132	3	13	3	5	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	0	0	0	1	14	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	1	0	0	3	16	0	2	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	0	9	2	1	33	0	12	0	2	0	4	26	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	0	7	0	1	5	0	10	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
8 人吉保健所	0	4	0	2	31	1	4	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	2	12	1	1	41	1	5	1	5	0	1	8	0	10	0	0	0	0	0
10 宇城保健所	0	5	0	7	19	2	13	0	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	0	0	0	2	7	0	12	0	1	0	8	4	0	0	0	0	0	0	0
計	8	63	16	40	442	10	115	8	28	0	37	78	0	24	0	1	8	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	3	0	1	0	0
小児科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	63	10	13	28	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	16	0	3	6	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	0	1	2	2	1	6	8	6	4	5	2	3	0	0						
感染性胃腸炎	442	4	12	57	42	44	46	58	37	27	14	15	41	6	39						
水痘	10	0	1	2	1	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0						
手足口病	115	0	18	51	20	11	10	3	0	0	1	0	0	1							
伝染性紅斑	8	0	1	3	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0							
突発性発疹	28	0	11	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	37	0	5	13	8	5	4	1	0	0	0	0	1	0							
流行性耳下腺炎	78	0	0	3	12	6	13	12	4	10	10	6	2	0							
眼科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	24	1	0	2	2	2	3	1	3	0	0	0	1	0	4	2	2	1	0	0	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	8	0	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザの流行に備えましょう



11月4日に県内で今シーズン初のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました。県内の定点医療機関(80医療機関)からの患者報告数は8件で、まだ流行入りはしていませんが、例年、12月頃から増加し始め、1月から2月にかけてピークを迎えます。

インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が突然現れます。下痢や嘔吐など消化器症状が見られる場合もあり、通常のかぜに比べて全身症状が強く出やすいことを特徴とします。お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど重症になることがあり、亡くなる方の報告もあります。予防対策をしっかり行い、流行に備えるようにしましょう。

また、今年は、熊本地震の影響により、救急病院等が混雑しています。例年以上にインフルエンザの予防に努め、重症化する前に医療機関を受診しましょう。

予防対策

- ① **流行前の予防接種**
 予防接種を受けてから効果がでるまで2週間程度かかるため、早めに接種を行いましょう。
- ② **飛沫感染対策としての咳エチケット**
 ◇咳やくしゃみを他の人に向けて発しない
 ◇咳やくしゃみが出る時はできるだけマスクをする
 ◇手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う
- ③ **外出後の手洗い**
 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。